

医業経営情報

REPORT

Available Information Report for Corporate Management

2019

4



歯科医院

2018年決算データからみる 歯科診療所経営実績分析

- 2018年 経営実績とその傾向
- 2018年 収入上位診療所の経営実績
- 2018年 収入ランク別経営実績
- 2018年 医療法人経営指標分析結果

税理士法人イースリーパートナーズ

1 | 2018年 経営実績とその傾向

1 2018年経営実績の概要

本調査は2018年の決算書に基づいて、実数値から経営状況を把握することを目的としています。その上で、連続して調査を実施している2017年との比較を通して、改善または悪化の状況を分析しています。抽出したデータは、2018年に決算を終えた歯科診療所306件（医療法人87件、個人開業219件）の数値を抽出し、平均値を算出しています。

なお、本分析では、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

2018年 比較要約変動損益計算書

(単位:千円)

	2017年	2018年	前年対比
医業収入	55,626	56,826	102.2%
1.保険診療収入	45,225	45,763	101.2%
2.自由診療収入	9,902	10,431	105.3%
3.その他の医業収入	499	632	126.7%
変動費	10,381	10,627	102.4%
1.医薬・歯科材料費	4,907	5,087	103.7%
2.外注技工料	5,474	5,540	101.2%
限界利益	45,245	46,199	102.1%
医業費用	25,870	26,217	101.3%
1.人件費	10,712	11,032	103.0%
2.減価償却費	4,468	4,294	96.1%
3.接待交際費	896	837	93.4%
4.研究研修費	330	363	110.0%
5.保険料	682	763	111.9%
6.消耗器具備品費	852	905	106.2%
7.その他経費	7,930	8,023	101.2%
医業利益	19,375	19,982	103.1%

2 全体動向と利益の傾向

(1) 全体動向

2018年における歯科診療所の経営実績は、2017年と比較して増収増益となりました。過去の本調査データでは、2012年から増加に転じており7期連続での増加となっています。保険診療収入は1.2%増、自由診療収入は5.3%増加しています。

医業収入・費用等全体の傾向

医業収入

医業収入は56,826千円で、1,200千円（対前年比2.2%）の増加となっています。内訳としては、保険診療収入が538千円（同1.2%）、自由診療収入が529千円（同5.3%）、その他医業収入が133千円（同26.7%）の増加となりました。

変動費

変動費（医薬歯科材料費・外注技工料等）は10,627千円で、246千円（対前年比2.4%）の増加となっています。

その他医業費用

その他医業費用は26,217千円で、347千円（対前年比1.3%）の増加となっています。減価償却費（同3.9%）、接待交際費（同6.6%）が減少し、人件費（同3.0%）、研究研修費（同10.0%）、保険料（同11.9%）、消耗器具備品費（同6.2%）、その他経費（同1.2%）は増加しています。

医業利益

医業利益は19,982千円で、607千円（対前年比3.1%）の増加となっています。

(2) 利益状況

限界利益、医業利益ともに増加し、限界利益が対前年比102.1%、医業利益は同107.9%という結果となりました。

限界利益・医業利益

（単位：千円）

	2017年	2018年	前年対比
限界利益	45,245	46,199	102.1%
医業利益	19,375	19,982	103.1%

3 医業収入の傾向

医業収入の実績は、下記のとおりです。医業収入合計では、対前年比 102.2%を示し、保険診療収入が 1.2%、自由診療収入が 5.3%の伸びとなっています。

医業収入

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
医業収入合計	55,626	56,826	102.2%
保険診療収入	45,225	45,763	101.2%
自由診療収入	9,902	10,431	105.3%
その他医業収入	499	632	126.7%

医業収入分析

医業収入

医業収入は 56,826 千円で、1,200 千円の増加となりました。内訳として、保険診療収入は 538 千円（対前年比 1.2%）、自由診療収入は 529 千円（同 5.3%）の増加となりました。

総収入に占める自由診療収入の割合

2017 年は 17.8%、2018 年では 18.4%となっており、増加傾向にあります。

4 医業費用の傾向

(1) 医業費用対前年比較

医業費用の実績は、次のとおりです。

変動費は 2.4%増加し、人件費は 3.0%の増加、その他固定費は 0.2%増加しました。

変動費（歯科材料費・外注技工料）

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
変動費合計	10,381	10,627	102.4%
変動費率	18.7%	18.7%	
医薬・歯科材料費	4,907	5,087	103.7%
外注技工料	5,474	5,540	101.2%

人件費

(単位:千円)

	2017年	2018年	前年対比
人件費合計	10,712	11,032	103.0%

その他医業費用

(単位:千円)

	2017年	2018年	前年対比
その他医業費用合計	15,158	15,185	100.2%
減価償却費	4,468	4,294	96.1%
接待交際費	896	837	93.4%
研究研修費	330	363	110.0%
保険料	682	763	111.9%
消耗器具備品費	852	905	106.2%
その他経費	7,930	8,023	101.2%

(2) 医業費用の傾向

変動費

変動費は10,627千円で、246千円増加しています。

医薬・歯科材料費は180千円、外注技工料は66千円増加しています。

人件費

人件費は11,032千円で、320千円の増加となりました。

その他医業費用

その他医業費用は15,185千円で、27千円の増加となりました。そのうち減価償却費が174円減少しているため、実質的な経費は201千円増加しています。

(3) 参考 役員報酬・専従者給与

個人開設と医療法人を合算して集計したため、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。別途集計した専従者給与と役員報酬を合算した平均値は、以下のとおりです。

参考 役員報酬・専従者給与

(単位:千円)

	2017年	2018年	前年対比
役員報酬・専従者給与	7,732	7,760	100.4%

5 2018年と過去推移分析の概要

本調査は2012年から毎年4月に実施し、経営実績レポートとして提供してきました。今回は、はじめに2018年から診療報酬改定年度に合わせ、時系列に遡りその傾向を分析します。本来であれば患者数や患者単価といった原単位に基づき分析すべきですが、各年度の決算書実数値をベースにしていますので、実数値から傾向を分析します。

なお抽出データは、人件費から役員報酬と専従者給与を除いています。

要約変動損益計算書 過去実績推移

(単位：千円)

	2018年	2016年	2014年	2012年	2018/2012比
医業収入	56,826	55,871	54,753	54,191	104.9%
1.保険診療収入	45,763	45,459	44,968	44,873	102.0%
2.自由診療収入	10,431	9,827	9,251	8,820	118.3%
3.その他の医業収入	632	585	534	498	126.9%
変動費	10,627	10,266	10,164	10,007	106.2%
1.医薬・歯科材料費	5,087	4,998	4,937	4,828	105.4%
2.外注技工料	5,540	5,268	5,227	5,179	107.0%
限界利益	46,199	45,605	44,589	44,184	104.6%
医業費用	26,217	25,950	25,118	24,815	105.6%
1.人件費	11,032	10,658	9,854	9,362	117.8%
2.減価償却費	4,294	4,632	4,832	4,989	86.1%
3.接待交際費	837	794	786	766	109.3%
4.研究研修費	363	350	342	334	108.7%
5.保険料	763	694	678	645	118.3%
6.消耗器具備品費	905	884	872	856	105.7%
7.その他経費	8,023	7,938	7,754	7,863	102.0%
医業利益	19,982	19,655	19,471	19,369	103.2%

6 過去推移全体動向

2012年からの実績を時系列にみると、歯科診療所の経営実績は、2012年と比較して増収増益となりました。

医業収入は4.9%、うち保険診療収入は2.0%の増加、自由診療収入は18.3%増加しています。変動費は6.2%の増加となりました。限界利益は4.6%の増加、また医業費用が5.6%の増加となり、医業利益は3.2%の増加となりました。

医業収入・費用等全体の状況

医業収入

2012年対比4.9%増加し、金額にして2,637千円の増収となりました。

保険収入は2.0%890千円の増加、自由診療収入は同18.3%1,611千円と大幅増加しています。

変動費

変動費は2012年対比6.2%の増加で、医薬・歯科材料費が5.4%の増加で、外注技工料が7.0%の増加となっています。

医業費用

2012年対比5.6%増加し、役員報酬と専従者給与を除いた人件費は17.8%と増加になっています。歯科助手、受付等の一般職が多い歯科診療所において、最低賃金の増加が大きく影響していると思われます。人件費以外の固定費は、2012年対比1.7%の減少となっています。

医業利益

2012年対比3.2%、613千円の増加となっています。

7 医業収入の傾向

診療報酬改定率は次ページのとおり推移で、いずれもプラス改定となっています。

2010年に民主党政権下で診療報酬改定が実施され、10年ぶりのネットプラス改定となりました。その流れは2012年にも継承され、1.38%（5,500億円相当）の診療報酬本体の引上げが行われました。また、2014年の診療報酬改定は、消費税率引上げに伴う医療機関等の課税仕入れにかかるコスト増への対応分が盛り込まれました。

その後、大幅なアップではありませんが、プラス改定は続いています。

診療報酬改定率の推移

	2018年	2016年	2014年	2012年
全体改定率	0.55%	0.49%	0.73%	1.38%
歯科改定率	0.69%	0.61%	0.99%	1.70%

医業収入の推移

(単位:千円)

	2018年	2016年	2014年	2012年	2018年/2012年
医業収入合計	56,826	55,871	54,753	54,191	104.9%
保険診療収入	45,763	45,459	44,968	44,873	102.0%
自由診療収入	10,431	9,827	9,251	8,820	118.3%
その他の医業収入	632	585	534	498	126.9%

推移状況から、保険収入は2.0%、自由診療が18.3%の大幅な伸びとなっています。歯科診療所数の増加による競争が激化しているためと、予防歯科等と合わせ自由診療への取り組みがなされている結果と考えられます。

2018年は、2012年と比較して金額で2,635千円の増加となり、自由診療の増加は1,611千円となっています。

8 医業費用の傾向

医業費用の実績は、次のとおりです。

変動費は6.2%増加し、人件費は17.8%の増加、その他固定費は1.7%減少しました。

2014年以降は消費税が8%にアップしたことで、コスト削減に対する意識が高まった時期といえます。ただ最低賃金の上昇により、受付や歯科助手の一般職の多い歯科診療所にとって人件費の増加は避けられませんでした。そこで、データのベースとなっている都道府県における最低賃金の推移を比較してみます。

最低賃金の推移(時給) 参考

(単位:円)

	2012年	2015年	2017年	2018年
北海道	719	764	810	835
東京都	850	907	958	985
千葉県	756	817	868	895
神奈川県	849	905	956	983

変動費（歯科材料費・外注技工料）

（単位：千円）

	2018年	2016年	2014年	2012年	2018年/2012年
変動費合計	10,627	10,266	10,164	10,007	106.2%
変動費率	18.7%	18.4%	18.6%	18.5%	+0.2%
医薬・歯科材料費	5,087	4,998	4,937	4,828	105.4%
外注技工料	5,540	5,268	5,227	5,179	107.0%

人件費

（単位：千円）

	2018年	2016年	2014年	2012年	2018年/2012年
人件費合計	11,032	10,658	9,854	9,362	117.8%

その他経費

（単位：千円）

	2018年	2016年	2014年	2012年	2018年/2012年
その他経費合計	15,185	15,292	15,264	15,453	98.3%
減価償却費	4,294	4,632	4,832	4,989	86.1%
接待交際費	837	794	786	766	109.3%
研究研修費	363	350	342	334	108.7%
保険料	763	694	678	645	118.3%
消耗器具備品費	905	884	872	856	105.7%
その他経費	8,023	7,938	7,754	7,863	102.0%

医業費用の傾向

変動費

2012年と比較すると6.2%の増加となっています。

内訳は、医薬・歯科材料費が5.4%増加、外注技工料は7.0%増加しています。

なお、変動費率は18.7%で、2012年から0.2%の増加となっています。

人件費

2012年と比較すると17.8%増加しています。

その他固定費

2012年との比較では1.7%、金額にして268千円の減少となっています。

減価償却費は2012年から13.9%減少しています。

2 | 2018年 収入上位診療所の経営実績

1 収入上位診療所の経営実績の概要

第2章で分析した歯科診療所306件（医療法人87件、個人開業219件）の決算書より、医業収入上位20%を抽出し、経営データを集計しました。対象は61件で、内訳は医療法人46件、個人開業15件となっています。

2018年 収入上位診療所比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
医業収入	108,738	114,070	104.9%
1. 保険診療収入	79,787	81,414	102.0%
2. 自由診療収入	28,421	32,115	113.0%
3. その他の医業収入	530	541	102.1%
変動費	20,885	21,607	103.5%
1. 医薬・歯科材料費	10,115	10,662	105.4%
2. 外注技工料	10,770	10,945	101.6%
限界利益	87,853	92,463	105.2%
医業費用	54,340	57,391	105.6%
1. 人件費	28,680	29,788	103.9%
2. 減価償却費	7,520	7,673	102.0%
3. 接待交際費	1,639	1,686	102.9%
4. 研究研修費	617	749	121.4%
5. 保険料	2,036	2,504	123.0%
6. 消耗器具備品費	1,581	1,699	107.5%
7. その他経費	12,267	13,292	108.4%
医業利益	33,513	35,072	104.7%

2 収入上位診療所の動向と利益の傾向

(1) 経営動向と利益状況

2018年歯科診療所全体の経営実績と同様、収入上位診療所も増収増益となりました。保険診療収入、自由診療収入とも増加しています。

医業収入・費用等全体の状況

医業収入

医業収入は114,070千円で、5,332千円（対前年比4.9%）の増加となっています。内訳をみると、保険診療収入が1,627千円（同2.0%）、自由診療収入3,694千円（同13.0%）、その他医業収入11千円（同2.1%）がそれぞれ増加しました。

変動費

変動費（医薬歯科材料費・外注技工料等）は21,607千円で、722千円（対前年比3.5%）の増加となりました。

医業費用

変動費外医業費用は57,391千円で、3,051千円（対前年比5.6%）の増加となりました。減価償却費、接待交際費、研究研修費、保険料、消耗器具備品、その他経費全て増加しています。

医業利益

医業利益は35,072千円で、1,559千円（対前年比4.7%）の増加となりました。

(2) 利益動向

限界利益、医業利益の双方が増加となりました。

限界利益が対前年比105.2%、医業利益は同104.7%という結果となりました。

限界利益・医業利益

（単位：千円）

	2017年	2018年	前年対比
限界利益	87,853	92,463	105.2%
医業利益	33,513	35,072	104.7%

3 医業収入の傾向

収入上位診療所の医業収入の実績は下記のとおりです。医業収入合計では、対前年比104.9%となっています。保険診療収入、自由診療収入とも伸びを示しています。

(1) 医業収入 対前年比較

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
医業収入合計	108,738	114,070	104.9%
保険診療収入	79,787	81,414	102.0%
自由診療収入	28,421	32,115	113.0%
その他医業収入	530	541	102.1%

(2) 医業収入分析結果

医業収入

医業収入は114,070千円で、5,332千円(対前年比4.9%)の増加となりました。保険診療収入が1,627千円(同2.0%)、自由診療収入が3,694千円(同13.0%)、その他医業収入が11千円(同2.1%)それぞれ増加しています。

4 医業費用の傾向

(1) 医業費用対前年比較

医業費用では、変動費は3.5%、人件費3.9%、その他医業費用は7.6%、それぞれ増加しています。

変動費(歯科材料費・外注技工料)

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
変動費合計	20,885	21,607	103.5%
変動比率	19.2%	18.9%	0.3%
医薬・歯科材料費	10,115	10,662	105.4%
外注技工料	10,770	10,945	101.6%

人件費

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
人件費	28,680	29,788	103.9%

その他医業費用

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
その他医業費用合計	25,660	27,603	107.6%
減価償却費	7,520	7,673	102.0%
接待交際費	1,639	1,686	102.9%
研究研修費	617	749	121.4%
保険料	2,036	2,504	123.0%
消耗器具備品費	1,581	1,699	107.5%
その他経費	12,267	13,292	108.4%

(2) 医業費用分析結果

変動費

変動費は21,607千円で、722千円(対前年比3.5%)の増加となっています。

人件費

人件費は29,788千円で、1,108千円(対前年比3.9%)の増加となっています(計上した人件費は役員報酬を差し引いて再計算)。

その他医業費用

その他医業費用は27,603千円で、1,943千円(対前年比7.6%)の増加となっています。

(3) 参考 役員報酬・専従者給与

第2章と同じく、参考として役員報酬と専従者給与を合算した平均値は、以下のとおりです。

参考 役員報酬・専従者給与

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
役員報酬・専従者給与	21,021	21,175	100.7%

3 | 2018年 収入ランク別経営実績

1 収入ランク別経営実績の概要

本分析で抽出したデータは、2018年に決算を終えた歯科診療所306件(医療法人87件、個人開業219件)から、医業収入が年間5千万円未満、5千万円以上1億円未満、1億円以上に分けて、分析しました。

第2章のデータ同様、個人開業に統合したため、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

各データのサンプル数

5千万円未満	144件(医療法人 16件 個人開業 128件)
5千万円以上1億円未満	137件(医療法人 53件 個人開業 84件)
1億円以上	25件(医療法人 18件 個人開業 7件)

医業収入別の個別データは、次ページ以降に掲載しました。収入ランク別に集計した主要データは、下記のとおりです。

2018年 収入ランク別主要データ

(単位:千円)

医業収入 ランク	5千万円未満 平均	5千万円～1億円 平均	1億円以上 平均
医業収入	31,026	69,470	155,437
変動費	5,621	13,079	29,851
限界利益	25,405	56,391	125,586
人件費	4,253	9,518	39,382
その他医業費用	13,710	22,761	45,746
医業利益	7,442	24,112	40,458

2 収入ランク別診療所経営実績分析結果

(1) 医業収入5千万円未満の診療所の平均データ

医業収入 50,000 千円未満診療所の歯科診療所は、減収減益となりました。医業収入は 541 千円減（対前年比 1.7%減） また医業利益は 528 千円減（同 6.6%減）となり、減価償却費や接待交際費も減少していますが、医業収入のマイナスの方が上回った結果です。

2018年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
医業収入	31,567	31,026	98.3%
1.保険診療収入	28,443	28,042	98.6%
2.自由診療収入	2,946	2,817	95.6%
3.その他の医業収入	178	167	93.8%
変動費	5,674	5,621	99.1%
1.医薬・歯科材料費	2,483	2,490	100.3%
2.外注技工料	3,191	3,131	98.1%
限界利益	25,893	25,405	98.1%
医業費用	17,923	17,963	100.2%
1.人件費	4,302	4,253	98.9%
2.減価償却費	2,882	2,647	91.8%
3.接待交際費	617	467	75.7%
4.研究研修費	156	162	103.8%
5.保険料	226	195	86.3%
6.旅費交通費	357	357	100.0%
7.通信費	322	328	101.9%
8.消耗器具備品費	507	503	99.2%
9.水道光熱費	655	665	101.5%
10.その他経費	7,899	8,386	106.2%
医業利益	7,970	7,442	93.4%

n=144件（医療法人 16件 個人開業 128件）

(2) 医業収入5千万円～1億円の診療所の平均データ

医業収入5千万円～1億円の歯科診療所は増収減益となりました。

医業収入は1,447千円増加(対前年比2.1%増)、医業利益は、90千円減少(同0.4%減)となりました。

2018年 比較要約変動損益計算書

(単位:千円)

	2017年	2018年	前年対比
医業収入	68,023	69,470	102.1%
1.保険診療収入	56,718	58,274	102.7%
2.自由診療収入	10,447	10,770	103.1%
3.その他の医業収入	858	426	49.7%
変動費	12,694	13,079	103.0%
1.医薬・歯科材料費	6,020	6,247	103.8%
2.外注技工料	6,674	6,832	102.4%
限界利益	55,329	56,391	101.9%
医業費用	31,127	32,279	103.7%
1.人件費	9,051	9,518	105.2%
2.減価償却費	5,558	5,296	95.3%
3.接待交際費	940	967	102.9%
4.研究研修費	396	443	111.9%
5.保険料	765	827	108.1%
6.旅費交通費	786	848	107.9%
7.通信費	501	527	105.2%
8.消耗器具備品費	1,067	1,210	113.4%
9.水道光熱費	848	871	102.7%
10.その他経費	11,215	11,772	105.0%
医業利益	24,202	24,112	99.6%

n=137件(医療法人 53件 個人開業 84件)

(3) 医業収入1億円以上の診療所の平均データ

医業収入1億円以上の歯科診療所は、増収減益の結果となりました。医業収入は、9,911千円増加（対前年比6.8%増）、医業利益は3,319千円増（同8.9%増）となりました。

2018年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
医業収入	145,526	155,437	106.8%
1. 保険診療収入	96,345	101,216	105.1%
2. 自由診療収入	48,297	53,207	110.2%
3. その他の医業収入	884	1,014	114.7%
変動費	28,434	29,851	105.0%
1. 医薬・歯科材料費	14,524	15,512	106.8%
2. 外注技工料	13,910	14,339	103.1%
限界利益	117,092	125,586	107.3%
医業費用	79,953	85,128	106.5%
1. 人件費	37,199	39,382	105.9%
2. 減価償却費	9,283	9,817	105.8%
3. 接待交際費	2,346	2,470	105.3%
4. 研究研修費	1,058	1,195	112.9%
5. 保険料	3,009	3,823	127.1%
6. 旅費交通費	2,386	2,305	96.6%
7. 通信費	875	945	108.0%
8. 消耗器具備品費	1,989	2,013	101.2%
9. 水道光熱費	1,638	1,811	110.6%
10. その他経費	20,170	21,367	105.9%
医業利益	37,139	40,458	108.9%

n=25件（医療法人 18件 個人開業 7件）

4 | 2018年 医療法人経営指標分析結果

1 医療法人経営指標分析結果

本章では、医療法人歯科診療所 81 件の貸借対照表の数値から経営指標を算出し、収益性、生産性、安全性、成長性の4つの視点で分析を行いました。第3章までの分析は、医療法人・個人開業のデータを合算しましたが、経営指標分析においては医療法人歯科診療所を対象としています。

2018年 比較貸借対照表 医療法人

(単位:千円)

資産の部			負債の部		
	2017年	2018年		2017年	2018年
【流動資産】	33,092	34,189	【流動負債】	11,873	12,524
現金・預金	16,613	17,676	買掛金	1,260	1,291
医業未収金	9,506	9,473	その他	10,613	11,233
その他	6,973	7,040			
【固定資産】	41,822	40,845	【固定負債】	26,408	24,214
《有形固定資産》	26,237	25,129	長期借入金	20,206	18,263
《無形固定資産》	5,538	6,205	その他	6,202	5,951
《その他の資産》	10,047	9,511			
			負債合計	38,281	36,738
			純資産の部		
				2017年	2018年
			【出資金】	11,274	10,954
			【利益剰余金等】	25,359	27,342
			純資産合計	36,633	38,296
資産合計	74,914	75,034	負債・純資産合計	74,914	75,034

2018年 比較損益計算書 医療法人無床診療所平均

経営分析に必要となる主要損益数値は、次のとおりです。役員及び職員数についてはその平均値から、役員4名および、職員数6名の計10名で計算しています。

医業収入

(単位：千円)

	2017年	2018年	前年対比
医業収入計	77,823	79,040	101.6%
限界利益	63,200	64,352	101.8%
給与費計	40,512	40,639	100.3%
医業利益	3,969	4,359	109.8%
経常利益	6,335	6,642	104.8%

2 収益性分析結果

		2017年	2018年	差異
収益性	総資本経常利益率	8.5%	8.9%	0.4%
	医業収入医業利益率	5.1%	5.5%	0.4%
	医業収入経常利益率	8.1%	8.4%	0.3%
	総資本回転率	1.0回	1.1回	0.1回

指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標です。	経常利益 ÷ 総資本 × 100 (%)
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標です。	医業利益 ÷ 売上高 × 100 (%)
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したものです。	経常利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標です。	医業収入 ÷ 総資本

収益性分析コメント

利益率

総資本経常利益率は8.9%で、対前年比0.4%増加し、医業収入医業利益率は、5.5%で対前年対比0.4%増、医業収入経常利益率は、8.4%で、前年に比べ0.3%増加しました。

総資本回転率

総資本回転率は1.1回で、前年とほぼ変わらないという結果となりました。

3 生産性分析結果

		2017年	2018年	差異
生産性	限界利益率	81.2%	81.4%	0.2%
	1人当たり医業収入/月	649千円	659千円	10千円
	1人当たり限界利益/月	527千円	536千円	9千円
	1人当たり人件費/月	338千円	339千円	1千円
	労働分配率	64.1%	63.2%	0.9%

指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費(外部購入費用)を控除した限界利益(付加価値)の医業収入に対する比率です。	$\text{限界利益} \div \text{医業収入} \times 100(\%)$
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る指標です。	$(\text{医業収入} \div \text{従業員数}) \div 12 \text{ヶ月}$
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標です。労働生産性ともいいます。	$(\text{限界利益} \div \text{従業員数}) \div 12 \text{ヶ月}$
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費(社会保険料などの企業負担も含めたもの)を見る指標です。	$(\text{総額人件費} \div \text{従業員数}) \div 12 \text{ヶ月}$
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る指標です。	$\text{総額人件費} \div \text{限界利益} \times 100(\%)$

生産性分析コメント

限界利益率...2018年は81.4%で、対前年比0.2%増加しました。
 一人当たり医業収入...2018年は659千円で、対前年比10千円増加しました。
 一人当たり限界利益...2018年は536千円で、対前年比9千円増加しました。
 一人当たり人件費...2018年は339千円で、対前年比1千円増加しました。
 労働分配率...2018年は63.2%で、対前年比0.9%減少しました。

4 安全性分析結果

		2017年	2018年	差異
安全性	流動比率	278.7%	273.0%	5.7%
	当座比率	220.0%	216.8%	3.2%
	固定比率	114.2%	106.7%	7.5%
	固定長期適合率	66.3%	65.3%	1.0%
	自己資本率	48.9%	51.0%	2.1%

指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る指標です。	流動資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る指標です。	当座資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ 自己資本 × 100 (%)
固定長期適合率	固定資産が自己資本と固定負債でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ (自己資本 + 固定負債) × 100 (%)
自己資本比率	総資産に占める自己資本(純資産)の割合を見る指標です。	自己資本 ÷ 総資産 × 100 (%)

安全性分析コメント

2018年の指標では、流動比率は273.0%となっており、短期的な債務返済能力は高い水準にあり、また換金可能な資産による債務返済能力も高いといえます。自己資本比率も他業種と比較して高い水準にあり、財務体質は健全と評価できます。

5 成長性分析結果

		2017年	2018年
成長性	医業収入増加率	1.1%	1.6%
	限界利益増加率	1.0%	1.8%
	医業利益増加率	1.1%	9.8%
	経常利益増加率	5.6%	4.8%

成長性分析コメント

2018年の経営実績は、医業収入・限界利益・医業利益・経常利益すべて増加する結果となり、このうち医業利益が9.8%、経常利益が4.8%増加しました。これは、医業収入の増加とともに歯科診療所のコスト削減が定着したことによるものと推測できます。



税理士法人イースリーパートナーズ

大阪：530-0054 大阪市北区南森町 1-3-29 MST 南森町 3F 06-6654-6805
京都：600-8413 京都市下京区烏丸仏光寺下ル大政所町 680-1 第八長谷ビル 4F 075-354-8455
高槻：569-0803 高槻市高槻町 14-13 丸西ビル 072-686-5131